

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会

27A-35

代表者：会長 栗原 堯

URL : <http://kumakanren09.net/>

1. 活動が必要とされた状況

荒川の河川敷にゴミが多くあることから、河川敷の清掃が必要と考えられ、毎年ゴミ拾いを実施した。また、荒川の恵みを考えていただく良い機会として、2024 年度も「第 27 回荒川の恵みと熊谷を考える集い（荒川の河川敷のゴミ拾い）」を開催した。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

〈実施時期〉毎年 11 月の日曜日に設定しており、今年も例年どおり 11 月 10 日（日）とした。

〈参加人数〉合計 25 の団体・企業等から約 750 名が参加した。

〈活動内容〉荒川本流河川敷（荒川大橋を中心に熊谷大橋から新久下橋まで両岸約 8km）にゴミ拾い受付場所を 6 か所設置、この 6 か所にゴミ集積場所を設けた。集まった参加者は当日 6 か所のいずれかの受付場所に集合し、午前中 2 時間程度ゴミ拾いを実施した。集積場所に集めたゴミは、熊谷市美化センターに収集を依頼し、昼から回収してもらった。



3. 活動の成果

今回、回収したゴミの量は以下のとおりである。

燃えるゴミ 90kg、燃えないゴミ 120 kg、合計 210kg。
ペットボトル 352 本。その他に、テレビ、三輪車、古タイヤ、バーベキューセット等があった。

ゴミの回収以外にも以下に示す成果があった。

- ・ きれいな荒川を次世代に引き継ぐことに役立った。
- ・ 荒川河川敷のゴミ拾いを通し、自然の大切さを学ぶことができた。
- ・ ペットボトル等プラスチック廃棄物を回収して、海洋のマイクロプラスチック汚染等の原因であるプラスチック廃棄物削減にも寄与した。
- ・ これまで手付かずだったエリアのゴミ拾いが実施できた。
- ・ 参加者の親睦の動機づけのため、当会製作の横断幕を使った記念写真撮影や、熊谷市のクマポポイント付与も行った。参加記念や企業の広報活動用に活用された方も多く「集い」への広報活動用としてのPR効果があった。



4. 今後に残された課題

今後の課題として参加企業、団体の協力により一定規模の「集い」は、例年開催出来ているが、一般市民レベルでの浸透レベルはまだ低い。今後の活動を続けて行くためには、更なるPR活動と、当会会員の高齢化により、若い世代のスタッフ確保が必要である。